

## 英語が話せたら・・・

今年の大学センター試験より「リスニング問題」が課せられるようになりました。また、小学校での英語教育の在り方についても、様々な議論がなされています。この話題については今までも何度となく取り上げてきましたが、気をつけないと英会話産業やメディア等に踊らされる危険性があると思います。

英語に限らず、「外国語が自由に話せたらいいな。」というのは多くの人の夢であると思います。ある人は仕事上で、ある人は趣味の世界で、またある人は海外旅行で、とにかく「話せない」より「話せる」方がいいに決まっているじゃないかと言い切ることもできるかもしれませんが、ただし、ここでいう「話せる」というのは、あくまでも「相手の話す言葉が聞き取れて、自分の言いたいことをその外国語で表現できる」という技術的なことです。それ以外に何があるのかと思われるかもしれませんが、現実にはこの「話せる技術」だけでは外国人の方との会話を楽しむには不十分なのです。

イメージしてみてください。例えば目の前にアメリカから来た方がいらっしゃるとします。さて、何を話しますか。まずは英語の教科書よろしく、出身地や好きな日本食・訪問したい場所でもたずねましょうか。さて、次は？おそらく相手の方はいやになるほどこうした同じ質問をされてきていると思います。とても会話を楽しむ気にはならないのではないかと思います。

むしろ日本に来るに際してなにがしかの興味を持っている方なら、日本の文化・歴史・慣習などを聞きたいと思っていられっやることでしょう。そういう内容を話してこそ「楽しい会話」になるものです。つまり私たち日本人としては、日本についての知識（常識）がまずは必要になるわけです。へたをすると相手の方のほうが日本についてよくご存じで、「ブシドウ（武士道）とは」とか『枕草子』の季節感などはと話を振られて困らないとも限りません。

もうおわかりだと思いますが、日本語でさえ答えに窮する質問や話題については、いくら英会話力（英訳する力）が優れていても何の役にもたたないわけです。聞き取りの力や発音などは、確かに幼いときに正しい発音に馴染むことで身に付きやすいとは思いますが、ただ、義務教育の他科目の勉強を削ってまで英語（英会話）にこだわることはないと思います。

先日、「英語で子育て」という記事が新聞に載っていました。（日本経済新聞2006/1/28夕刊）参考までにご覧下さい。

## '05年度2学期通知表結果

9科目別平均	英語	数学	国語	社会	理科	5科目計	音楽	美術	保体	技家	9科目計	
学年	1	4.7	4.4	4.1	4.4	4.2	21.9	4.1	4.1	3.8	4.0	37.9
	2	4.3	4.1	3.6	3.7	3.9	19.6	3.0	3.3	3.9	3.6	33.3
	3	4.8	4.4	4.2	4.2	4.2	22.0	4.0	4.2	4.0	4.2	38.4